

信頼性 P.166 システムを安全かつ安定性に運用するための指標となっている。
の向上

指標		意味
信頼性	(Reliability)	システムが正常に稼働している。 指標としてMTBF(参照P.232 下記へ)が用いられる。
可用性	(Availability)	必要に応じて、いつでもシステムが使用できる状態。 指標として稼働率(参照P.232 下記へ)が用いられる。
保守性	(Serviceability)	システムの故障個所の早期発見、早期修復ができる。 指標としてMTTR(参照P.232 下記へ)が用いられる。
保全性	(Integrity)	誤作動がなく、システムが壊れにくいこと。
安全性 (機密性)	(Security)	不正アクセスによって、システムが破壊されたり、 データを盗まれたりしないように保護すること。

稼働率 P.232 信頼性を示す指標の一つ

MTBF … 平均故障間隔	システムが故障してから、次に故障するまでの平均時間。 平均故障間隔の値が大きいほど、信頼性が高いシステムといえる。
MTTR … 平均修理時間	システムが故障して修理に要する平均時間。 平均修理時間の値が小さいほど、保守性が高いシステムといえる。
稼働率 = $\frac{\text{MTBF}}{\text{MTBF} + \text{MTTR}}$	システムが正常に動作している時間の割合。

キュー P.82

スタック

キュー	格納した順序でデータを取り出すことができるデータ構造。
特徴	FIFO: 先入れ先出し…最初に格納したデータは最初に取り出せる。
	エンキュー …データをキューに格納する。
	デキュー …キューから取り出す。

※ キュー構造は、ジョブ待ちなどの待ち行列で使われる。(P.170 参照)

スタック	格納した順序とは逆の順序でデータを取り出すことができるデータ構造。
特徴	LIFO: 後入れ先出し…最後に格納したデータを最初に取り出せる。
	プッシュ …データをスタックに格納する。
	ポップ …スタックから取り出す。

※ スタック構造は、再帰呼出しやデータ退避などに使われている。(P.196 参照)